



11月22日

宮領ワークセンター等竣工落成式

ご臨席をいただいた皆様、支えて頂いた地域の皆様、本当にありがとうございました。



宮領ワークセンター全景



広島県知的障害者福祉協会会長
米川様による乾杯



東広島市長
高垣様



竹原市長
今榮様



赤坂理事長 挨拶



お見送り風景



来賓の方々と



佐々木常夫先生による記念講演

あおぞら保育園



笑顔あふれる保育園を目指して

令和2年2月1日より、宮領ワークセンター1・2階に企業主導型保育施設「あおぞら保育園」がオープンします。0才児から3才児までをお預かりする小規模認可外保育園です。「笑顔」「安全」「丁寧」な保育を心がけ、子ども達の主体性を大事にしていきたいです。目と目を合わせ、人と人との温かい触れあいやスキンシップを大切に、職員と保護者が繋がり合って子ども達の健やかな成長を見守ります。皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

興味がおありの方は、ぜひ一度見学にいらしてください。スタッフ一同、お待ちしております。

園長 貞重 文代



多機能型事業所あさひ

バレーボール大会を通じて

10月18日(金)、バンブー運動公園体育館にて竹原地域社会福祉法人協議会が主催する『平成31年度竹原地域社会福祉法人職員交流会 バレーボール・バレーボール大会』が行われ、8施設から126名の選手が集まり熱戦を繰り広げました。

竹原地域では、幼児・高齢者・障害者の福祉施設と社会福祉協議会が分野の垣根を超えて、魅力ある職場づくりを目指し、協働で取り組みを行っています。今回の行事もその取り組みの一つで、親睦を深めることを目的で行われました。

あさひからは、ビーチバレーボールへ2チームがエントリーしました。

私は、初めてこの大会に参加したのですが、違う施設同士で応援し、お互いのナイスプレーを拍手で称えあい、心温まる場面がたくさんありました。そういう中であさひは見事、優勝!!優勝!!ロワイヤルをあさひの玄関に飾っていると、保護者や地域の方が「すごいね」と言ってくれます。今回の大会を通して、保護者や地域の方、違う施設の方の温かさを感じ、いつも支えて下さっているからこそ、今のあさひが



あるのだなと改めて実感しました。感謝の気持ちを、今後は地域貢献を通して伝えていきたいです。

支援員
瀧岡 峰花

デイセンター「こだま」

ミスを無くすマニュアル作り

デイセンター「こだま」を利用されている方は、複数のサービスを利用しており、デイ利用後にヘルパー外出や宿泊をされる方など様々です。

ヘルパーや宿泊をされる方は、デイ登所時に着替えなどの荷物も一緒に持参されるため、バッグが2個以上になり、荷物が多くなることで職員が把握しきれず返却し忘れた時がありました。

そのようなミスを無くすために、どうするべきか皆で話し合った結果、マニュアルを作成することにしました。ただ、マニュアルと言っても、利用者1人につきA4一枚で収まるように、簡潔な内容かつ分かりやすく見やすくしたものとなりました。このマニュアルを一定期間試行した後、職員に聞く「分かりやすかったか」や「確認作業に係る時間が少し減った」との感想があり、概ね肯定的な意見で、このマニュアルは継続していくことになりました。

これからも、職員間で試行錯誤を重ねながら、確実な業務を行えるよう取り組みます。

支援員 大坂 祐貴

放課後等デイサービス 夕風

みんなで育てるコスモス

これまで、利用者が体を動かすことを目的として畑に水やりをしていましたが、いつのまにかその目的も曖昧になってきました。利用者が水やりをすることで、何か達成感を感じられる目的があればいいなと思い、夕風の玄関横にコスモスを植えました。

多くの利用者が活動として参加できるように計画し、最初はAさんに取り組んでもらうことにしました。『ジョーロ一杯分がプランター1つ』と約束を作り、毎日のスケジュールに入れました。「明日は芽が出るかな。早く花が見たいな」と楽しみにする姿を見て、活動の目的が明確になったように感じました。また、やむを得ずお休みになってしまった時には、「誰が水やりするの?」と言い、活動に使命感や責任感を持って取り組んでいたことを知ることができました。

今回の活動を通して、Aさんの新たな一面を発見することができ、今後の成長を楽しみに感じました。

保育士 斎藤 萌



※誌面の写真、名前については、ご本人の同意を得て掲載しています。